

第3回 ハートシェア 終了しました。

がん治療中の女性の集い ～母として妻として気がかりなこと～

H21年6月10日開催

がんという病気を抱えながら、母親として、妻としていろいろな問題に直面し、悩んでいませんか？「子供とどう向き合えばよいか？」「子供にどう伝えればよいか？」「夫や家族には相談しにくいことがある。」このような悩みを一人で抱え続けることは精神的にも身体的にもつらいです。

今回の会は、このような同じ境遇の人たちで集い、母として、妻としてみなさんが抱えている思いを語り合い、共有し、他の人達がどのように問題と向き合っているのか情報交換する場にしたいと考えています。明日からの生活へのヒントを見出せる会にしましょう。

以下は、患者同士で語られた内容です。

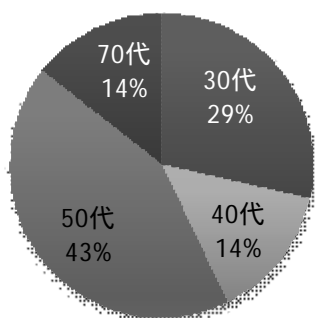
困っていること、つらいこと、迷っていること

- ・ 病気のことを子供にどう話すか、どこまで話すか、話した後の事が気がかり
- ・ 周りの友人、知人にどこまで自分の気持ちを話すか(子供の保育園や学校の親)
- ・ 保育園や学校の先生に事情をなかなか話し辛い
- ・ テレビやインターネットの情報によって逆に不安になる。病気が怖くなる。周りの人にも情報が偏って伝わっている(がん=死)
- ・ お母さん、妻の役割をどう果たすか...子供が心配する。子供につらい想いをさせるのがつらい

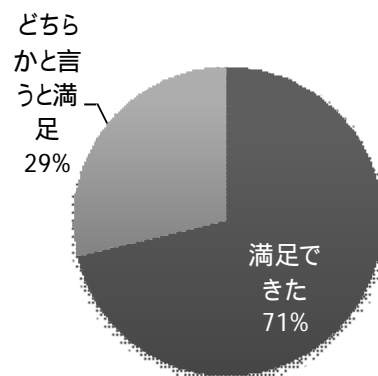
工夫していること、こうしたら楽になれた

- ・ 日常の家事は、つらいときは休む、できる時にする
- ・ 夫には、もうちょっと手伝ってもらいたい。言わないとわからない。
ちょっとずつお願いして、やってくれたらほめてあげる
泣いたらいいです
- ・ 病気をきっかけに子供の成長がわかった。味噌汁をつくってくれた。
- ・ 子供がインターネットでいろいろ調べてくれる
- ・ なるべく外に出る
- ・ 花野菜を育てる。別の方向に注意がむけるようにする
- ・ おいしいと感じたり、今日元気なところを喜ぶ

参加者の年齢



満足度



不満・満足の理由・感想・要望など(原文のまま)

がん患者さん本人からの家事・育児の工夫を聞けたり、自分が不安に思っていることを話せる相手がいたことで、スッキリしました。

今後もこのような機会があれば、体調が許すかぎりまた参加したいので、ポスター等で情報を教えてほしいです。

同じ立場の方の意見が聞けてとてもよかったです。また機会があれば参加したいと思います。

自分と同じ乳ガンの人ともう少し話がしたかった。

こういう機会がまたあったらいいと思います。外科の先生もいたらいいなあ。

いろいろな人の意見が聞けたので良かったと思う

同じ病気の方々と、きらかに話し合出来、今後参考にします。

今後も続けていただきたいです。

もう少しゆっくり話がしたかった。

自分より、もっともっと大変な思いをしている方が居て、そんな中で明るく頑張っている姿を目にし励まされた。

9名の方の参加がありました。8か月のお子様や未就学児をお持ちの方の若いお母さんもいて、語り合いの中で声がつまり、みんなで泣く場面もありました。病名も状況もそれぞれの集まりでしたが、がんの治療を受けながら母として妻としてという共通の話題で、奥の深い語り合いの場になりました。

次回のハートシェアは、「家族をがんで亡くした人の集い」です。